

平成28年度

# 業 務 報 告 書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

山口県農業共済組合

3. 事業報告書

事業報告書

平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(1) 農作物共済関係  
(引受)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(-) (B)	手 持 共済掛金 (A)+(B)
区分								
水稻	一筆・半相殺 殺・全相殺	人 23,229	a 2,093,916	kg 71,500,567	円 12,215,532,797	円 50,059,498	円 -4,376,736	円 45,682,762
	品質	28	35,322		261,492,584	5,995,908	-652,448	5,343,460
	計	23,257 (実)23,254	2,129,238	71,500,567	12,477,025,381	56,055,406	-5,029,184	51,026,222
麦	29年産							
	災害収入	279	177,489		491,207,266	28,358,683	19,786,354	48,145,037
	一筆	1	27	269	6,725	187	181	368
	計	280	177,516	269	491,213,991	28,358,870	19,786,535	48,145,405
	28年産							
	災害収入	274	173,966		529,835,025	30,617,406	21,368,474	51,985,880
一筆	2	132	2,187	38,922	1,001	962	1,963	
計	276	174,098	2,187	529,873,947	30,618,407	21,369,436	51,987,843	

(地域内訳)

項目 管内	水稻				麦(29年産)			
	一筆・半相殺・全相殺方式		品質方式		災害収入共済方式		一筆方式	
	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積
	人	a	人	a	人	a	人	a
中部	9,363	986,264	27	35,264	153	113,008		
東部	7,901	408,086			32	12,248	1	27
西部	5,965	699,566	1	59	94	52,233		
計	23,229	2,093,916	28	35,322	279	177,489	1	27

- 水稻 ○ 前年対比：引受面積 98.7%、共済金額 92.8%  
○ 引受状況：高齢化等により前年に比べ1,417人、291ha減少しました。米粉用米、飼料用米は801haで前年と比較し71人、303ha増えています。引受方式の割合は一筆方式が99.3%（組合員数）を占めています。
- 麦 ○ 前年対比：引受面積 102.0%、共済金額 92.7%  
○ 引受状況：昨年に比べ4人、34ha増加しました。災害収入共済方式において適用する単位当り価格の低下が影響し共済金額は3,866万円減少しました。引受方式の割合は災害収入方式が99.3%（組合員数）を占めています。

(注) 28年産麦の引受状況は通常総代会後、交付金申請予定者が申請者で無くなったことにより、引受単価を変更及び作付面積の異動や品種相違により引受変更しました。

(変更前)

項目		組合員数	引受面積	引受収量	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(-) (B)	手 持 共済掛金 (A)+(B)
区分								
麦	28年産							
	災害収入	274	173,938		529,654,724	30,606,672	21,360,861	51,967,533
	一筆	2	133	2,198	39,186	1,009	969	1,978
計	276	174,071	2,198	529,693,910	30,607,681	21,361,830	51,969,511	

## (被害)

区分	項目	被害 組合員数	共済減収量	共済金	共済金 共済金額
水稻	一筆・半相殺・全相殺	人 868	kg 365,479	円 61,975,599	% 0.5
	品質	1		18,297	0.01
	計	869		61,993,896	0.5
麦	災害収入	200		91,460,025	17.3
	一筆				
	計	200		91,460,025	17.3

## (地域内訳)

項目 管内	水稻				麦			
	一筆・半相殺・全相殺方式		品質方式		災害収入共済方式		一筆方式	
	被害 組合員数	共済金	被害 組合員数	共済金	被害 組合員数	共済金	被害 組合員数	共済金
	人	円	人	円	人	円	人	円
中部	202	13,165,552	1	18,297	114	73,658,468		
東部	365	17,886,924			24	11,710,567		
西部	301	30,923,123			62	6,090,990		
計	868	61,975,599	1	18,297	200	91,460,025		

水稻 ○ 被害状況：6月下旬の集中豪雨により一部の圃場で土砂流入が発生しました。また、7月13日の大雨及び8月末の風雨の影響、及び9月20日、10月5日の台風接近の影響により倒伏被害が発生しました。梅雨明け以降8月下旬までの高温・少雨により干害が発生しました。7月中旬までの天候不順により中山間地を中心にいもち病が発生しました。また、梅雨明け以降の高温や強風の影響により、イネ内穎褐変病、籾枯れ細菌病及び紋枯病が発生しました。移植期にスクミリンゴガイによる食害が発生しました。中山間地ではイノシシ、サル被害が、西部地区においてはシカによる被害も発生しました。

麦 ○ 被害状況：播種時期から2月中旬にかけて、日照不足及び降水量が多かったことにより発芽不良及び生育不良が発生しました。生育期間中も全般的に降雨が多く、土壌水分の影響により穂数が大幅に少なくなり、さらに暖冬により生育が進み登熟期間が短縮され、充実不良となり大幅に減収し異常災害となりました。

## (支払)

項目 区分	支払 年月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
水稻	H28.12.27	円 61,993,896	円	円 51,026,222	円 10,825,895	円	円 141,779	% 100.0
麦	H28.12.21	91,460,025	23,991,116	51,987,843	4,858,734	550,717	10,071,615 水稻法定積立金 より充当	100.0

(2) 家畜共済関係  
(引受)

区分	項目	有資格 頭数	事業計 画頭数	引受 頭数	引受 頭数 事業 計画 頭数 %	共済金額	徴 収 共済掛金	交付金又は 納入保険料(-)	手持共済掛金	
									共済掛金 (甲)	共済掛金 (乙)
		頭	頭	頭	%	円	円	円	円	円
	乳用牛等 (内胎児)	5,644 (2,735)	3,469 (750)	3,606 (867)	103.9	410,179,440	40,623,994	11,946,483	22,214,240	30,356,237
	肉用牛等 (内胎児)	20,498 (4,686)	18,447 (4,717)	18,928 (5,003)	102.6	3,639,699,160	95,433,981	19,392,595	53,054,752	61,771,824
	馬	6	4	2	50.0	466,000	22,538	940	21,584	1,894
	種豚	1,863	1,310	1,346	102.7	72,660,000	26,618	-4,708	21,910	
	肉豚	17,736	8,950	8,962	100.1	93,204,800	35,790	-6,430	29,360	
	肉用種 種雄牛	2	2	2	100.0	1,078,000	42,074	-6	42,068	
	計 (内胎児)	45,749 (7,421)	32,182 (5,467)	32,846 (5,870)	102.1	4,217,287,400	136,184,995	31,328,874	75,383,914	92,129,955

- 家畜 ○ 前年対比：引受頭数 乳用牛等96.7%、肉用牛等97.8%、馬50%、種豚105.9%、肉豚98.9%  
○ 引受概況：畜産農家は減少傾向にあるが、全体の飼養頭数に大きな変化はなく、共済金額の増額に努め、前年度と比較して共済金額比112.2%となりました。

(地域内訳)

管内	項目	乳牛用等 (内胎児)	肉用牛等 (内胎児)	馬	種豚	肉豚	肉用種 種雄牛	計
		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
中部		2,059 (754)	8,173 (1,606)	2			2	10,236 (2,360)
東部		236 (113)	4,284 (899)		1,346	8,962		14,828 (1,012)
西部		1,311	6,471 (2,498)					7,782 (2,498)
計		3,606 (867)	18,928 (5,003)	2	1,346	8,962	2	32,846 (5,870)

(事故)

区分	項目	死 廃 事 故			支払共済金	病傷事故	
		頭 数				件 数	支払共済金
		死 亡	廃 用	計			
		頭	頭	頭	円	件	円
	乳用牛 (内胎児)	184 (58)	87	271 (58)	27,262,516	2,435	35,781,771
	肉用牛等 (内胎児)	441 (238)	46	487 (238)	64,490,747	7,387	72,754,296
	馬	1		1	132,518	1	8,730
	種豚						
	肉豚	348		348	3,619,200	-	-
	肉用種 種雄牛						
	計	974 (296)	133	1,107 (296)	95,504,981	9,823	108,544,797

## (死傷事故 地域内訳)

管内	項目	乳用牛等 (内胎児)	肉用牛等 (内胎児)	馬	種豚	肉豚	肉用種 種雄牛	計
		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
中部		143 (49)	193 (81)	1				337 (130)
東部		18 (9)	106 (48)			348		472 (57)
西部		110	188 (109)					298 (109)
計		271 (58)	487 (238)	1		348		1,107 (296)

## (病傷事故 地域内訳)

管内	項目	乳牛用等	肉用牛等	馬		肉用種 種雄牛	計
		件	件	件		件	件
中部		1,276	3,868	1			5,145
東部		62	1,155				1,217
西部		1,097	2,364				3,461
計		2,435	7,387	1			9,823

○ 事故概況：支払共済金は、前年度と比較して死傷事故（対前年度支払比103.6%）、病傷事故（同比91.7%）となりました。

## (損害防止)

実施種目	対象頭数	経費	摘要
特定損害防止	729	2,884,370	実施時期 平成28年6月29日～平成29年2月20日 重点事項 繁殖障害、寄生虫疾患、周産期疾患
一般損害防止	26,419	3,204,195	実施期間 平成28年7月中旬～平成28年9月中旬 重点事項 畜舎消毒等

○ 参考：特定損害防止は、家畜共済事業の収支安定および加入者の診療費負担軽減を図り、繁殖障害や周産期疾患、寄生虫性腸炎など特定の疾病について農林水産大臣の承認を受け実施する事業で、国が費用の約6割を負担し残りは当組合が負担しています。  
一般損害防止は、希望する加入者に対し、削蹄、畜舎消毒、予防接種および講習会等を実施し、護蹄管理や飼養衛生管理に寄与し、ひいては畜産経営および家畜共済事業の安定運営を目的としています。

## (診療所)

管内	項目 職員数	管内		診療件数		損害防止		
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算
中部	10	11,936	10,236	3,528	6,736	10,222	231	853
東部	3	19,500	14,828	890	907	4,848	72	165
西部	9	14,313	7,782	3,280	2,502	11,349	426	1,866
計	22	45,749	32,846	7,698	10,145	26,419	729	2,884

## (3) 果樹共済関係

(引受)

果樹区分		項目	組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金又は納入保険料(-)(B)	手持共済掛金(A)+(B)
			人	a	kg	円	円	円	円
うんみしかんゆう	半相殺	29年産 ① 減収総合一般	80	1,837	187,958	11,048,000	201,679	-56,862	144,817
		28年産 減収総合一般	85	2,069	201,266	11,860,000	330,260	-102,636	227,624
		② 特定危険減収暴風雨	33	1,360	184,851	11,330,000	56,717	15,926	72,643
		① + ② H28年度計	113	3,197	372,809	22,378,000	258,396	-40,936	217,460
なつみかん	半相殺減収総合一般	30年産							
		28年産							
なし	災害収入	29年産	23	1,613		107,755,000	2,148,132	402,493	2,550,625
		28年産	24	1,662		108,975,000	2,996,817	152,561	3,149,378

地域内訳	うんしゅうみかん				なつみかん		なし	
	減収総合一般		特定危険減収暴風雨		減収総合一般		災害収入	
	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積
	人	a	人	a	人	a	人	a
中部	14	469						
東部	57	1,134	33	1,360				
西部	9	234					23	1,613
計	80	1,837	33	1,360			23	1,613

うんしゅう ○ 前年対比：引受面積 88.4%、共済金額 85.5%

みかん ○ 引受概況：

・減収総合一般方式

6人、121 a の新規引受があったものの、生産者の高齢化により11人、266 a の廃業及び一部の園地の規模縮小により引受面積が前年対比88.8%となりました。

・特定危険減収暴風雨方式

1人、33 a の新規加入があったものの、高齢化等に伴う廃業により4人、181 a の減少及び栽培面積の縮小により引受面積が前年対比87.9%となりました。

なし ○ 前年対比：引受面積 97.1%、共済金額 98.9%

○ 引受概況：

・災害収入共済方式

高齢化による園地の縮小により20 a の減少、及び1人の農家が経済的理由による加入中止により29 a 減少しました。

## (被害)

果樹区分		項目	被害組合員数	認定減収量	共済金	共済金 共済金額
			人	kg	円	%
うんしゅう みかん		減収総合(一般)	7	9,257	322,470	2.7
		特定危険(減収暴風雨)				
		計	7	9,257	322,470	1.4
		なつみかん	-			
		なし	4	8,494	386,345	0.4

## うんしゅう ○ 被害状況：

みかん

## ・減収総合一般方式

平成28年産うんしゅうみかんは裏年にあたりますが、比較的着花量が確保されました。梅雨明け以降、8月下旬まではまとまった降雨がなく、猛暑も続いたため干害となり、日焼け果、小玉果等が発生した園地もありました。また、猪による食害や樹木の損傷被害が被害地域を拡大して発生しました。

## ・特定危険減収暴風雨方式

最大瞬間風速が20m/sを超えた日が3日ありましたが、超過被害は発生しませんでした。

なし

○ 被害状況：平成28年産なしは4月16日・17日及び5月3日・4日の強風による果実の損傷によりあざ果が発生し、品質低下の一因となりました。また、梅雨明け以降の7月18日から8月25日の期間は降水量が極めて少なく、猛暑も続いたため、日焼け果、小玉果及び過熟果による規格外が大量に発生し、減収及び品質低下となり、収穫量は前年比約49％、生産金額は同じく約2,110万円の減となりました。

地域内訳	うんしゅうみかん				なつみかん		なし	
	減収総合一般		特定危険減収暴風雨		減収総合一般		災害収入	
	被害組合員数	共済金	被害組合員数	共済金	被害組合員数	共済金	被害組合員数	共済金
	人	円	人	円	人	円	人	円
中部								
東部	7	322,470						
西部							4	386,345
計	7	322,470					4	386,345

## (支払)

果樹区分	項目	支払年月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
うんしゅう みかん		H29.2.28	円 322,470	円 102,701	円 219,769	円	円	円	% 100.0
なつみかん		-							
なし		H28.12.26	386,345		386,345				100.0

## (4) 畑作物共済関係

(引受)

項目 畑作物区分	組合員数	引受面積	引受収量 基準生産金額	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(-) (B)	手持 共済掛金 (A)+(B)	
	人	a	kg	円	円	円	円	
大豆	185	75,692	750,501	164,380,298	12,761,265	1,542,371	14,303,636	
茶	29年産	4	347	1,859,244	1,329,000	36,168	-5,793	30,375
	28年産	7	781	4,349,622	3,304,000	102,593	-13,038	89,555

地域内訳	大豆						茶	
	半相殺		全相殺		一筆		災害収入	
	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積	組合員数	引受面積
	人	a	人	a	人	a	人	a
中部	2	40	68	30,000	2	123	4	347
東部	15	184	20	10,909	5	272		
西部			41	24,075	34	10,089		
計	17	224	129	64,984	41	10,484	4	347

大豆 ○ 前年対比：引受面積 103.0%、共済金額 99.0%

○ 引受概況：22人の農家が栽培中止、19人の新規引き受けがありました。既存農家の規模拡大もあり、前年と比較し22ha増加しました。組合員数185人(実人数) 方式別組合員数187人(延人数)。  
引受方式は全相殺方式が69.0%(組合員数)を占めています。

茶 ○ 前年対比：引受面積 44.4%

○ 引受概況：経営状況の悪化に伴う廃業、廃園により人数、面積ともに減少。前年に比べ面積が434a減少しました。

(注) 27年産大豆は、保険料基礎率の変更に伴い、142,008円の追加交付金を受けたため変更しました。

(27年産 大豆)

項目	組合員数	引受面積	基準生産金額	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料(-) (B)	手持 共済掛金 (A)+(B)
	人	a	円	円	円	円	円
変更前	188	73,500	754,322	166,091,239	13,747,125	2,317,005	16,064,130
変更後	188	73,500	754,322	166,091,239	13,747,125	2,459,013	16,206,138



## (被害)

項目 畑作物区分	被害組員数	共済減収量	共済金	共済金 共済金額
大豆	99人	88,150kg	14,328,340円	8.7%
茶	-人	生産金額の減少額 円	円	%

地域内訳	大豆						茶	
	半相殺		全相殺		一筆		災害収入	
	被害 組員数	共済金	被害 組員数	共済金	被害 組員数	共済金	被害 組員数	共済金
	人	円	人	円	人	円	人	円
中部	2	15,018	35	6,109,940	2	68,627		
東部	3	26,988	17	3,591,275	1	1,232		
西部			24	4,019,530	15	495,730		
計	5	42,006	76	13,720,745	18	565,589		

大豆 ○ 被害状況：6月上旬より7月中旬までは断続的な降雨が続き全体的に播種作業は遅延して進行しました。その後は梅雨明け以降から8月下旬までは極めて降雨が少なく、また、猛暑が続いたため干害が発生しました。更にこの時期の高温寡雨の条件によりハスモンヨトウが多発生し一部の圃場では食害被害が発生しました。干ばつの影響により着莢数が少ない状況で推移し、また10月は気温が高かったことから落葉が進まず青立ち株が散見され、その後の断続的な降雨やそれに伴う日照不足により十分に乾燥が進まず、収穫時期が遅れ品質低下及び減収の要因となりました。中山間地においては、発芽期にウサギ、シカによる新芽の食害が発生し、子実肥大期以降についてはイノシシによる踏み込み等の被害が発生しました。

茶 ○ 被害状況：3月下旬に気温の低い日がありましたが、その時点では新芽が出ておらず、影響はありませんでした。4月は全体的に気温が高く推移し、萌芽は若干早まりました。4月上旬に萌芽した園地では、4月12日、20日の霜により頂芽の被害が懸念されたものの、収量の減少及び品質の低下とはなりません。生産金額が共済限度額を下回った農家がありましたが、価格を加味した収穫量は基準収穫量を上回り、共済金支払対象とはなりません。

## (支払)

項目 畑作物区分	支払 年月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
大豆	H29.3.30	14,328,340円	円	14,303,636円	円	円	24,704円	100.0%
茶	—							

## (5) 園芸施設共済関係

## (引受)

施設区分	項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金又は納入保険料(-)(B)	手持共済掛金(A)+(B)
ガラス室	I類								
	II類	5	9	3,675	40,195,000	32,149,000	20,282	13,573	33,855
プラスチックハウス	I類	1	1	216	377,000	301,000	1,403	947	2,350
	II類	734	2,605	514,503	792,713,000	632,505,000	10,538,939	3,788,497	14,327,436
	III類	108	162	111,434	345,230,000	273,774,000	2,090,221	1,162,450	3,252,671
	IV類甲	47	66	35,737	143,235,000	114,562,000	1,088,555	640,351	1,728,906
	IV類乙	29	45	28,769	132,398,000	105,894,000	181,915	131,010	312,925
	V類	2	3	784	5,460,000	4,366,000	8,166	4,093	12,259
	VI類	48	193	36,144	49,709,000	39,670,000	456,237	167,714	623,951
合計		974 (実)755	3,084	731,262	1,509,317,000	1,203,221,000	14,385,718	5,908,635	20,294,353

地域内訳	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	(共済金額の内の撤去費用・復旧費用内訳)		
					撤去費用	本体復旧	附帯復旧
	棟	m <sup>2</sup>	円	円	円	円	円
中部	1,264	269,460	503,982,000	402,625,000	611,000	761,000	
東部	854	210,931	498,844,000	395,814,000	497,000		
西部	966	250,871	506,491,000	404,782,000	1,793,000	3,150,000	97,000
計	3,084	731,262	1,509,317,000	1,203,221,000	2,901,000	3,911,000	97,000

○ 前年対比：引受棟数 89.8%、共済金額 94.1%

○ 引受概況：廃業及び施設の規模縮小等により引受棟数が減少しました。

## (被害)

施設区分	項目	被害			損害の額	共済金				共済金共済金額
		組合員数	棟数	附帯施設数		特定園芸施設	附帯施設	施設内農作物	合計	
ガラス室	I類									
	II類									
プラスチックハウス	I類									
	II類	50	66		3,964,699	2,962,443		204,321	3,166,764	0.5
	III類	10	12		629,566	503,431			503,431	0.2
	IV類甲	7	8		593,505	474,800			474,800	0.4
	IV類乙	1	1		268,125	214,500			214,500	0.2
	V類									
	VI類	2	3		540,520	431,563			431,563	1.1
合計		70 (実)68	90		5,996,415	4,586,737		204,321	4,791,058	0.4

地域内訳	被害組合員数	被害棟数	損害の額	共済金	(共済金の内の撤去費用・復旧費用内訳)		
					撤去費用	本体復旧	附帯復旧
	人	棟	円	円	円	円	円
中部	21	31	2,969,386	2,371,944			
東部	17	20	918,835	733,939			
西部	30	39	2,108,194	1,685,175			
計	68	90	5,996,415	4,791,058			

○ 被害概況：山口県に接近した台風は3回ありましたが、4月、5月の低気圧の通過に伴う強風による支払いが全体の46.7%を占めました。また、12月及び1月の積雪により、9棟が倒壊するなどしましたが、共済金は昨年より1,300万円の減となりました。

## (支払)

実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金共済金
	保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
円	円	円	円	円	円	%
4,791,058	897,088	3,893,970				100.0

(6)任意共済関係

1 建物共済

(引受)

加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり 平均共済金額	再共済掛金	再共済手数料
		純共済掛金	賦課金			
棟 45,811	円 472,208,580,000	円 262,144,570	円 192,493,209	千円 10,308	円 136,388,000	円 51,598,887

(注) 総共済掛金額 454,637,779円、再共済割合30%、再共済手数料割合37.8%

地域 内訳	加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり 平均共済金額	備考
			純共済掛金	賦課金		
	棟	円	円	円	千円	
中部	19,532	194,404,370,000	112,427,087	80,942,144	9,953	
東部	11,493	106,190,280,000	65,164,516	46,474,006	9,240	
西部	14,786	171,613,930,000	84,552,967	65,077,059	11,607	
計	45,811	472,208,580,000	262,144,570	192,493,209	10,308	

○ 前年対比：引受棟数 94.8%、共済金額 94.9%

○ 引受概況：離農等・高齢化による農業者の減少等により、前年度実績を下回りました。

(事故)

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)		再共済金	被害率 (ロ)/(イ)	備考
		火災	風水害等			
棟 105	円 1,332,940,000	円 67,252,983	円 5,801,249	円 21,915,881	% 5.5	

地域 内訳	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)			被害率 (ロ)/(イ)	備考
			火災	風水害等	計		
	棟	円	円	円	円	%	
中部	49	601,000,000	11,069,359	1,706,545	12,775,904	2.1	
東部	16	143,240,000	64,835	1,649,220	1,714,055	1.2	
西部	40	588,700,000	56,118,789	2,445,484	58,564,273	9.9	
計	105	1,332,940,000	67,252,983	5,801,249	73,054,232	5.5	

○ 建物共済原因別事故発生状況

事故の原因別		事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	再共済金	被害率 (ロ)/(イ)	備考
火災	落雷	棟 40	円 658,800,000	円 2,166,684	円 649,626	% 0.3	
	類焼	2	37,000,000	41,583,911	12,475,172	112.4	
	マッチ・ライター	1	20,000,000	34,087	10,226	0.2	
	車両飛び込み	3	7,900,000	71,381	21,413	0.9	
	煙突・煙道	1	11,000,000	12,664,325	3,799,297	115.1	
	外部からの物体の衝突	7	66,500,000	178,403	53,520	0.3	
	給排水設備	3	60,000,000	496,225	148,866	0.8	
	毀損汚損	3	56,000,000	72,731	21,819	0.1	
	その他	2	18,000,000	9,985,236	2,995,570	55.5	
火災 計		62	935,200,000	67,252,983	20,175,509	7.2	
総合	台風等	9	87,000,000	877,711	263,313	1.0	
	暴風雨	29	279,740,000	4,395,850	1,318,755	1.6	
	雪害	5	31,000,000	527,688	158,304	1.7	
	総合 計	43	397,740,000	5,801,249	1,740,372	1.5	
合計		105	1,332,940,000	73,054,232	21,915,881	5.5	

○ 火災全焼事故 4棟 加入共済金額 5,600万円 支払い共済金 63,520,857円

## 2 農機具共済

(引受)

加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額	備 考
		純共済掛金	賦課金		
台	円	円	円	千円	
8,375	14,257,100,000	51,890,451	21,757,318	1,702	

地域 内訳	加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	
	台	円	円	円	千円
中部	3,688	6,547,640,000	23,948,259	10,111,884	1,775
東部	2,231	3,105,180,000	11,270,353	4,625,116	1,392
西部	2,456	4,604,280,000	16,671,839	7,020,318	1,875
計	8,375	14,257,100,000	51,890,451	21,757,318	1,702

- 前年対比：引受台数 99.8%、共済金額 103.3%
- 引受概況：高齢化等により離農し農機具の手放し等により減少したため、引受台数は昨年を19台下回りました。共済金額は、加入限度額の引き上げや、農機具の大型化に伴い前年対比 4.5億円の増加となりました。

(事故)

事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	備 考
台	円	円	%	
306	1,022,150,000	45,223,333	4.4	

- 事故台数は前年と同じ台数に止まりましたが、共済金は12,816,594円増加しました。

地域 内訳	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	備 考
	台	円	円	%	
中部	161	581,260,000	24,109,429	4.1	
東部	76	184,120,000	11,608,584	6.3	
西部	69	256,770,000	9,505,320	3.7	
計	306	1,022,150,000	45,223,333	4.4	

○ 農機具共済原因別事故発生状況

事故原因別		事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)
損害		台	円	円	%
	接触・衝突	169	574,380,000	15,769,063	2.7
	その他稼働中	72	248,240,000	8,087,047	3.3
	異物の巻き込み	39	136,130,000	3,121,875	2.3
	転覆・墜落	17	33,120,000	15,287,486	46.2
	その他	9	30,280,000	2,957,862	9.8
	計	306	1,022,150,000	45,223,333	4.4

## (7) 農機具更新共済事業

## 農機具更新共済

(引受)

加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		
			純共済掛金		賦課金
			損害部分	減価部分	
台	円	円	円	円	円
52	129,540,000	115,210,000	473,463	17,931,221	394,304

地域内訳	加入台数	共済金額	減価共済金額	共済掛金		
				純共済掛金		賦課金
				損害部分	減価部分	
	台	円	円	円	円	円
中部	39	85,210,000	77,820,000	310,149	11,280,717	258,975
東部	1	230,000	230,000	805	44,229	690
西部	12	44,100,000	37,160,000	162,509	6,606,275	134,639
計	52	129,540,000	115,210,000	473,463	17,931,221	394,304

○ 前年対比：引受台数 106.1%、共済金額 115.5%

○ 引受概況：新規加入が7台あり、共済金額も2,317万円増え、台数、共済金額ともに増加となりました。

(事故・期間満了)

事故台数	期間満了台数	事故に係る加入 総共済金額 (イ)	支払共済金		被害率 (ロ)/(イ)	備考
			共済事故 によるもの (ロ)	期間満了 によるもの		
台	台	円	円	円	%	
9	3	29,220,000	332,013	5,280,000	1.1	

地域内訳	事 故				期間満了		備考
	台数	加入 総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	台数	支払共済金	
	台	円	円	%	台	円	
中部	8	24,220,000	279,976	1.2	3	5,280,000	
東部							
西部	1	5,000,000	52,037	1.0			
計	9	29,220,000	332,013	1.1	3	5,280,000	

○ 事故概況(共済事故によるもの)

事故原因別		事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	備考
		台	円	円	%	
更新	接触、衝突	6	17,680,000	223,831	1.3	
	その他	3	11,540,000	108,182	0.9	
	計	9	29,220,000	332,013	1.1	

## (8)業務関係

## ア 重要な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
平成28年4月12日	監事会(第1回)
4月18日	都道府県農業災害補償制度関係主管課長及び 農業共済組合連合会等全国参事会議
5月9日	中国地区農業共済組合連合会・特定組合長会議
5月9日	中国地区農業共済組合連合会・特定組合参事会議
5月9日・10日・11日	決算監査
5月11日	監事会(第2回)
5月11日	本所会館改築検討委員会(第7回)
5月20日	理事会(第1回)
6月7日	第3回通常総代会
6月7日	理事会(第2回)
6月7日	本所会館改築検討委員会(第8回)
6月15日	損害評価会(園芸施設共済部会)
6月27日	コンプライアンス研修(第1回)
6月28日	第1回全国会長等会議
7月1日	損害評価会(果樹共済 常緑果樹部会)
7月12日	農業共済団体の運営状況に関するヒアリング(農林水産省)
7月13日	第1回全国参事会議
7月14日	西日本農業共済組合連合会・特定組合参事会議
7月25日	異常例検査(現物検査)
7月26日	本所会館改築検討委員会(第9回)
7月26日	本所会館等改築工事指名競争入札
8月12日	余裕金運用管理委員会(第1回)
8月12日	理事会(第3回)
8月23日・24日・25日	異常例検査
9月13日・14日・15日・20日・21日	
9月29日・10月18日・11月1日	
9月7日	第2回全国会長等会議
9月8日	損害評価会(畑作物共済 茶部会)
10月12日	第2回全国参事会議
10月13日	西日本農業共済組合連合会・特定組合参事会議
10月21日	監事講習会
10月21日	監事会(第3回)
10月21日	余裕金運用管理委員会(第2回)
10月21日	損害評価会(果樹共済 常緑果樹部会)
10月25日	理事会(第4回)
11月1日・2日・4日	中間監査
11月4日	監事会(第4回)
11月18日	第3回全国会長等会議
11月29日	損害評価会(農作物共済 麦部会)
11月21日	NOSAI事業推進大会
12月6日	本所会館改築検討委員会(第10回)
12月19日	損害評価会(果樹共済 落葉果樹部会)
12月19日	損害評価会(農作物共済 水稻部会)
平成29年1月13日	本所会館改築検討委員会(第11回)
1月13日	本所実測作業棟改築工事指名見積入札
1月18日	第4回全国会長等会議
1月20日	理事会(第5回)
1月20日	余裕金運用管理委員会(第3回)
1月20日	監事会(第5回)
1月24日	収入保険に関する全国説明会
2月3日	中国地区農業共済組合連合会・特定組合参事会議
2月15日	第3回全国参事会議
2月16日	西日本農業共済組合連合会・特定組合参事会議
2月17日	損害評価会(果樹共済 常緑果樹部会)
2月17日	収入保険に係る意見交換会
2月21日	損害評価会(家畜共済部会)
2月28日	余裕金運用管理委員会(第4回)
2月28日	理事会(第6回)
2月28日	役員講習会
3月2日・3日	コンプライアンス研修(第2回)
3月16日	臨時総代会
3月16日	コンプライアンス改善委員会(第1回)
3月23日	損害評価会(畑作物共済 大豆部会)
3月23日	第5回全国会長等会議
3月29日	理事会(第7回)
3月29日	監事会(第6回)

## イ 総代会

(ア) 通常総代会(平成28年6月7日)

総代会日現在総代数(A)	196 人	出席率	
本人出席(B)	71 人	(B) / (A)	36.2%
代理出席	0 人		
書面出席	123 人		
出席者計(C)	194 人	(C) / (A)	99.0%

### 重要な議事及び議決事項

- 1 平成27年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分(案)の承認の件
- 2 平成28年度事業計画の設定並びに事務費賦課額、賦課方法の承認の件
- 3 平成28年度損害評価会委員手当、調整評価員手当、損害評価員手当、共済部長手当、女性部会委員手当の支給額並びに支給方法の承認の件
- 4 平成28年度役員報酬の支給額並びに支給方法の承認の件
- 5 平成28年度家畜診療所運営委員報酬の支給額並びに支給方法の承認の件
- 6 無事戻金(果樹(うんしゅうみかん・なし))支払額の承認の件
- 7 農作物共済勘定特別積立金取崩し額の承認の件  
(損害防止委託に係る取崩し)
- 8 余裕金の預け入れ先の承認の件
- 9 定款の一部変更の承認の件
- 10 共済規程の一部変更の承認の件
- 11 職員退職給与規則の一部変更の承認の件
- 12 本所会館等改築工事実施計画並びに施工に係る予算の承認の件
- 13 旧山口県中部農業共済組合本所土地・建物の処分の承認の件
- 14 付帯決議

以上、各議案原案通り承認可決

(イ)臨時総代会(平成29年3月16日)

総代会日現在総代数(A)	193 人	出席率	
本人出席(B)	42 人	(B) / (A)	21.8%
代理出席	0 人		
書面出席	149 人		
出席者計(C)	191 人	(C) / (A)	99.0%

**重要な議事及び議決事項**

- 1 共済規程の一部変更の件
- 2 家畜共済危険段階共済掛金標準率等設定の件
- 3 付帯決議

以上、各議案原案通り承認可決



ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減	摘 要
44,242 人	42,032 人	△ 2,210 人	

エ 役職員その他

(ア) 役職員

役員数	理 事						監 事		合 計	
	常勤	0人	非常勤	23人	計	23人	3人		26人	
職員数	事項 性別	参 事	監査室	総 務	事 業	家 畜	総合 支所	支所及び 出張所	家畜 診療所	計
	男	人 1	人	人 7	人 9	人 5	人 21	人 39	人 13	人 95
	女			3	1	1	2	4	5	16
	男(囑託)		2		2		1	2	1	8
	合計	1	2	10	12	6	24	45	19	119

※臨時職員は除いた数

(イ) 総代、共済部長、損害評価会委員、調整評価員、損害評価員

総 代	共 済 部 長	損害評価会委員	調整評価員	損害評価員
193 人	3,826 人	40 人	232 人	2,383 人

(ウ) 女性部会委員

女性部会委員
34 人

(エ) 家畜診療所運営委員

家畜診療所運営委員
10 人